

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

Table with 4 rows: 事業所番号 (0193500048), 法人名 (医療法人 五紀会), 事業所名 (グルーホーム白鳥台 さくらユニット), 所在地 (室蘭市白鳥台5丁目20番10号), 自己評価作成日 (平成32年1月15日), 評価結果市町村受理日 (令和2年3月25日)

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

入居者様が安心して明るく元気にお過ごしいただけるように、各々の特徴や身体状況などに配慮したサービスが提供できるように努めております。また、アットホームな施設でありたいと考えておりご家族様やボランティアの方々、同一法人内の保育園の子供たちと行き来を密にし交流を重ねております。立地的には坂道の中にあり、決して良いとは言えませんが、お隣のおたがい様サロンへの外出や近隣のスーパーへの買い物、床屋への外出なども定期的に行っております。入居者様と共に毎月の目標を決めて、気候が良けれ施設範囲内または町内を散歩したり、ホーム内でもラジオ体操や関節可動域運動を積極的に取り入れて、心身の健康維持に取り組んでおります。同一法人である、太平洋病院との連携により月2回の健康管理を定期的に行われることや看護師が常駐しており介護・医療が適切に提供できるよう支援体制を整えております。

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

Table with 2 columns: 基本情報リンク先URL, http://www.kajigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_022_kani=true&JigvosvoCd=0193500048-00&ServiceCd=320&Type=search

【評価機関概要(評価機関記入)】

Table with 3 rows: 評価機関名 (特定非営利活動法人 福祉サービス評価機構Kネット), 所在地 (札幌市中央区南6条西11丁目1284番地4 高砂サニーハイツ401), 訪問調査日 (令和2年2月4日)

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- 1) ホームの環境・介護機能等の整備: 室蘭岳を背景に、自然の変化を味わえる環境にあって、居室は日当たりよく、洗面・トイレも身近に配置し、利便性と効率性の高い介護機能を備えている。
2) 職員の介護姿勢・態度: 職員は資質向上に努め、利用者・家族等の意向・意見等を真摯に傾聴し、受容して、弾力的な対応に努め、また心身の変化に迅速な処遇や連絡に努めている。
3) 家族等の好感度: 職員間の意思疎通の徹底、傾聴的態度で利用者への適切な対応、居室等の整理・整頓・清潔な管理のよさなど、真摯な介護態度・姿勢に、高い好感を示している。
4) 運営推進会議の開催状況: 会議は定例に開催。家族・包括支援センター・町内会長・関連知見者・行政職員等の参加の下に運営状況の詳細を説明して、意見等を運営に反映している。
5) 地域組織・機関等の連携: 定例ボランティアの活動の参加や、院内保育園との交流、包括支援センターの支援等、法人の一体的地域関連活動と共に、その貢献への役割を担っている。

Table with 4 columns: 項目, 取り組みの成果 (該当するものに○印), 項目, 取り組みの成果 (該当するものに○印). Rows 56-62 detailing service outcomes and staff performance.

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	ホームのエンタランスに職員の顔写真付きプレートを掲示し、ホームの理念に沿ってサービスに対する各々の「言葉」で表現し、紹介している。	職員は『個人の尊重・生きがいの成就・ご家族・地域交流づくり』を柱とした理念を共有して、その人らしい、利用者の個々の状況に応じた変化を観て、聴いて、意向を受け止め、家庭的で、真摯な介護に専念している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	包括による過去の室蘭市歴史をスライドショーで披露していただいたり、2月に1回は歌や踊りのボランティアを積極的に受け入れ交流を図っている。	地域のボランティア活動である歌や踊りを楽しみ、院内保育園の園児やサロン等の交流等地域の人々の温かな支援の下に、日常の平穏な生活を享受している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	法人の医療相談室・居宅介護支援事業所や近隣の包括支援センターからの紹介等で、施設見学に来られた方に対してGHについてや認知症の方とのかかわり方について説明を行っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ご家族、町内会、包括支援センター職員、市職員にご参加いただき、事業所の取り組みや活動報告を行い、参加者の方から意見を拝聴している。	会議は定例に開催され、市行政、包括支援センター、町内会代表、家族等の参加を得て、日常の運営内容を詳細に説明して、特に、家族の理解を得るとともに、参会者の意見を運営に反映している。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	室蘭GH連絡会に加入し、毎月の入居状況を報告している。必要に応じて、事故報告や変更事項の報告を窓口へ赴き行っている。運営推進会議は隣接する地域密着型ケアハウスとの合同開催とし、市職員に参加を頂いている。	運営推進会議には行政職員の参加があり、定例報告とともに、GHの介護の実情を見てもらうほか、市GH連絡会での情報交換の成果等で、運営の資質向上を図っている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	不適切なケアの段階において改善が図られるように、実際に合った事項について別様式への記載。それをもとに協議を実施し、身体拘束をしないケアに取り組んでいます。	定例に委員会を開催して、日常の介護における支援課題等を個々の状況に応じて協議し、議事録とともに職員に課題を明示して、理解の共有を図っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	不適切なケアの段階において改善が図られるように、実際に合った事項について別様式への記載。それをもとに協議を実施し、見過ごされる事が無いよう取り組みを行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修会へ参加し理解を深める機会を得ている。成年後見制度を利用されている入居者様もあり、学ぶことが出来ている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	ご入居前にご自宅又は転床前の施設にうかがいご本人ご家族とのコミュニケーションをとり、契約書・重要事項説明書を丁寧に説明している。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご来所時に意見や要望を拝聴するようにしている。担当者会議にご家族の参席を頂き、ケアに反映することに努めている。	家族の訪問頻度はよく、来訪時での職員の対応の在り方に留意している。利用者個々の生活状況や思いとを丁寧に伝えて、家族の意向等を受け止め、運営に反映するよう努めている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	申し送りやミーティングを通じて意見交換の機会を設けている。その日の介護業務リーダー制や係担当制を導入して、施設運営について職員の積極的な協力・参加ができてきている。	定例の職員会議やカンファレンス会議で、利用者の生活状況に応じた処遇対応等について、各職位の専門的見解を相互が共有に努め、理解を深めている。また人事考課における個々のニーズや意見を受け止め、反映している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の体調や家庭事情をできるだけ考慮したシフト作成を行い働きやすい環境作りに努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修費用、宿泊代の助成等積極的に外部の研修会に参加できる環境作りに努めているまた、職員の経験や技量にあった内容のものに参加できるように配慮している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	室蘭GH連絡会・広域連絡会を通じて定期的に交流の機会がある。外部研修や法人内の研修において、他の部署や他の施設職員との交流の場となる事も期待して、その機会の提供に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に可能な限りご本人様より不安や要望をお伺いし職員へ伝達し、利用開始時にご本人様の安心に繋がるように努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご本人様・ご家族様のご関係や生活背景等を拝聴し、要望や不安な事を気軽にお話しただけよう、信頼関係作りが良好になるように努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	管理者および計画作成担当が入居前の情報をもとに、必要とされている支援を見極め他のサービスも検討している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	在宅の生活の中でご本人様がお好きだった事や得意な事をホームの中でも表現できるように支援し共にやりがいを持てるように関係作りを行っている。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご本人、ご家族のきずなが、ご本人を支えることにおいても最も重要である事をお伝えしながら、定期面会や、外出・外食、受診対応などにおいてご協力をいただいている。又その都度、情報の共有を図っている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの関係の方が来訪された際にはゆったりとお過ごしいただき、関係が途切れる事のないようにもみゆにケーションを図り、支援するように努めている。	主に、家族の来訪時の対応に留意して支援できるよう、十分な談話の機会を設けたり、相談事項を受け止めるなど、馴染みの関係支援に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	皆様がリビングにおいて良好な関係を築けるよう、食席やソファ席の位置関係に配慮すると共に、レクレーションや体操等に参加いただく事で楽しみの共有ができるように支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	本体病院に入院され退去のケースもあり、院内でお会いした際に現状をうかがったりしている。また、契約終了後も書状が届いたり、来訪される事もあり、その後のつながりを大切にしている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご本人様やご家族様と定期的にカンファレンスを重ね、意向や要望を把握している。職員間でも協議を重ね意向に沿える様努めている。	個々のアセスメントを基礎にして、日常の行動や対応に学びながら、交わりを通して思いや意向の把握に努め、時に家族の協力を得て、その把握に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族来訪時などコミュニケーションを密にとり、ご本人様のこれまでの生活歴を大事に、職員間でも情報共有できるよう努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居者様それぞれの身体能力や精神状態を把握できるよう他職種間で共有している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	職員全員にモニタリングを依頼し個人の感覚だけではなくチームとして入居者様の状況の把握を行っている。また、ご本人様の様子など情報の共有も行き、随時追加・修正を重ね現状に合ったプランの作成を行っている。	定例カンファレンス会議等での記録や個々のモニタリング状況のまとめ等、各職位による意見等を実務的に協議している。利用者の最適な介護目標の設定と具体的な支援の在り方を計画作成に活かしている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別に行動状況などを随時介護記録に記載し生活状況を職員間で把握できるように対応している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	近隣のデイサービスへのお出かけやユニット間や隣接するケアハウス、幼保園との交流や母体である病院との密接な連携体制をとり、法人全体で多機能的に、ニーズに対応するように努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近隣の歯科医の訪問診療により、口腔衛生指導や義歯の調整等の協力を得ている。また、訪問理美容、ボランティアの利用。近隣の床屋への散髪など、それぞれの身体能力に沿わせた暮らしを送れるように支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人様及びご家族様の希望のもと適切で安心した医療環境を提供できるよう努力している。また、かかりつけ医への受診時は情報提供など前もって報告しより適切な医療を受けられるよう支援している。	利用者個々のかかりつけ医の受診支援は、家族の理解も得て、基本的に利用者・家族の希望に沿うこととしている。また受診結果等の情報管理は、看護師が行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	介護職員と看護職員間で日々申し送りを行い医師(受診時)やご家族への伝達も適切に速やかに行えるような体制を作っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には病状や身体状況把握の為、お見舞いや入院中の生活状況やリハビリ状況などの情報収集をし早期に退院できるよう、医療機関との連携も図っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所で行えることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	重度化した場合には、都度ご家族や主治医との話し合いの場をもうけ、主治医からの説明や家族の要望、今後についての話し合いをお行い今後の支援の方針を決定し情報を共有し対応している。	重度化等の対応については、契約時の対応指針に基づき、心身の変化の状況に応じて、家族や主治医と具体的な対応策を講じて支援している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	流行性感染性胃腸炎発生時の対応を含め、緊急時対応について研修を実施し、急変や事故を想定した時の対応方法の訓練を定期的に行っている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の総合防災訓練を消防署立ち合いのもと実施している。また、マニュアルの整備、備蓄の再点検を行い、実際に即した対応・訓練を行っている。	年2回の総合的な想定訓練を実施している。消防署の立ち合いもあり、指導を得ている。日常の職員・家族との連絡、設備点検、備蓄等も含めて、災害対応に努めている。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	目線合わせ一人ひとりのお話に傾聴し言葉かけに気を付けて対応している トイレ誘導の声かけも小声で対応し他に気付かないようにしている	個々の生活習慣・生活経験等を観察し、日常で意向を傾聴して、利用者個々の個性の尊重に立ち、プライバシーを損ねることのない支援に努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の会話の中で思いをさりげなく伺い実現を図っている お誕生日などは本人の好きなメニューを選んで頂いている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	起床、就寝、食事時間は本人の体調やペースで行って頂いている 体操やレクリエーションを行う際も参加されやすいように声かけを行っている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	日々の整容はそばで見守り季節に合った洋服を進め 入浴や外出の際は一緒に選んだりしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	定期的にホットプレートで入居者様と一緒に調理をする昼食会を行っている 入居者様に合った食器や盛り付けに配慮し提供している 家事活動など入居者様に合わせてお手伝いして頂いている	個々の心身の状況を踏まえ、楽しい食事の時間となるよう心がけ、個々への食事介護に留意している。季節や行事などの食事や、定期的と一緒に調理する昼食会を実施するなど、健康に留意した楽しみとなる食事支援を行っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスを考え一人ひとりに合った食事を提供し水分量を明記し把握している		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	起床時から毎食後、声かけ見守りを行い口腔ケアを実施し磨き残しがないよう確認している 口腔内に異常を認めた場合はご本人、ご家族と相談し歯科往診を受け改善に努めている		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	一人ひとりの排泄状況を把握しその方に合ったパットとトイレへの声かけを行っている 排泄の自立に向けた支援を行っている	個々の排泄パターンや用具等の状況を把握し、それに応じた支援を職員相互が共有に努め、自立を基本に個々の排泄介護を行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日の水分量の確保、牛乳や乳製品の提供を行っている 体調を確認し健康体操を取り入れ運動している 医療連携により個別に応じて下剤を服用されている方もいる		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	身体状況の観察をしご本人の希望、体調に合わせて入浴して頂いている	入浴支援は個々の心身の状況や当日の意向を伺いながら、楽しい入浴となるよう、職員二人がかりの支援に努めている。一部手摺の備の不安に留意している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ご本人の習慣に合わせて休んで頂いている 安眠できるよう季節に合った寝具、温度、衣類を考え対応し支援している		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	看護師を中心としチェックを行い誤薬がおきないように努めている 変更時等は看護師より口頭及び申し送り表にて指示を受け対応している		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	毎日の生活の中で個別にできる事をお願いしている 掃除、洗濯たたみ、紙箱づくり等の気分転換の支援をしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域のみなさんと協力しながら出かけられるよう支	春、秋にはバスレクを年行事として行い 日常は「おたがいサロン」や床屋、外食への外出を行っている ご家族と連携を取り行きたい所へ行けるよう支援している	計画的なレクバス旅行で季節の変化を楽しみ、日常では「お互いサロン」、理・美容、外食等に出向き、また家族との外出も支援している。居室からは室蘭岳の自然の変化が楽しめる環境にある。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	おこづかいはホームでの管理となっているが外出時にはお使い頂けるよう配慮している おこづかいの使用は帳簿にて管理し定期的にご家族へ報告を行うことで明確にしている		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人からの申し入れがある時はいつでも使用できるようになっている 毎年、ご家族へ年賀状を自筆で送っている 書けない方には代筆を行っている		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有スペースは食席、ソファ席を用意している 季節に合わせた装飾を一緒に作成し飾っている 行事時の写真を飾りご本人やご家族に日常の様子を覗いて頂いている	南面に居室が並び、居間・食堂、調理室と共に共有空間はソファ、TV等の配置、季節の飾りや絵画、行事記録等が掲出されている。また、温・湿・採光管理もよく、憩いの場となっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気の合う方とおしゃべりを楽しんで頂いている 仲の良い関係を職員は把握しており 会話やテレビ鑑賞しやすいよう椅子等の配置に配慮している		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居の際には自宅で使用していた家具等をご家族と相談の上配置、行動スペースを確保し安全も配慮し居心地良く過ごせるよう努めている	居室は個々の利用者と家族の思い出の飾りつけや馴染みの備品備具を備え、ソファや椅子を配置して、自ら寛げる居室づくりを家族の協力を得て、支援している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	洗面台、浴室、手すり等は理学療法士等の意見を取り入れ使いやすい工夫をしている 居室、浴室、トイレも分かりやすいよう表示し生活区域の導線の確保も行っている		